

## 令和3年度 第1回成田市水道事業運営審議会 会議概要

### 1 開催日時

令和3年5月14日（金）午後2時00分から午後2時40分まで

### 2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 3階 第2応接室

### 3 出席者

（委員）

遠藤委員・伊藤委員・宮田委員・大野委員・岩館委員・岡里委員

※佐久間委員は所用により当日欠席

（事務局）

加瀬林水道部長・平山業務課長・野平工務課長・石橋業務課長補佐・

岡野工務課主幹・弘海業務課主幹・伊藤工務課係長・

岩内業務課主任主事

### 4 議事

（1）副会長の選出について

委員の互選により、伊藤委員が副会長に選出された。

### 5 報告

（1）並木町配水場改修事業について

資料に基づき、並木町配水場改修事業の事業概要及び進捗状況について事務局から説明を行った。主な意見及び質疑は以下のとおり。

【委員】

並木町配水場における配水量の変化はどのようになっているか。

【事務局】

少量ではあるが増加傾向となっており、最大配水量に近づきつつある。今後もしばらくは増加傾向が続くものと考えており、計画している最大配水量か

ら見て、大きく余剰水量が出ることはないの見込んでいます。

**【委員】**

印旛広域水道からの受水と井戸から取水の水量について、今後の見込みはどうなっているか。

**【事務局】**

現状の水量としては、配付資料にあるように、井戸からの取水量が 6,450 m<sup>3</sup>/日、印旛広域水道からの受水量は 5,550 m<sup>3</sup>/日となっており、受水については許可されている最大の水量で、これ以上増やす事はできない。また井戸については、許可水量は 8,000 m<sup>3</sup>/日であるが、昭和 40 年代に設置した井戸のため老朽化によりくみ上げ量は落ちている。しかし、成田地区は千葉県からの受水地下水くみ上げ規制の区域となっていることから、井戸を掘り直したりすることができない。更生工事等でなるべく延命させるようにしているが、許可水量まで能力を戻すことは出来ない状態である。したがって、施設の最大配水能力 12,000 m<sup>3</sup>/日を超える場合には、並木町配水場からの給水エリアについて見直しを行うことになる。

**【委員】**

最終的に全ての工事が完了するのはいつになるのか。

**【事務局】**

管理棟の建築工事の後、施設の南側に排水処理設備や消毒設備、着水井を新設する工事があり、現在のところ全ての工事が完了するのは令和 4 年度末を見込んでいる。しかしながら、管理棟の建築工事において、昨年度に 2 度の入札不調があり、半年ほどの遅れが生じている。そのため、現在、工程の立て直しを図っているところである。

**【委員】**

入札不調の原因は何か。コロナウィルスの影響によるものか。

**【事務局】**

コロナウィルスの影響というよりは、継続事業で契約期間が長いため、現場代理人等が長期間拘束されることを敬遠して応札がなかったのではないかと考えている。

(2) その他

事務局より、昨年度からの支払い猶予などの新型コロナウイルスへの対応状況について説明を行った。主な意見及び質疑は以下のとおり。

**【委員】**

中期計画への影響はあるか。

**【事務局】**

新型コロナウイルスについては短期的な影響が出ると考えている。中長期的には、成田市水道事業ビジョンで示した施策を進めていくことになる。

**【委員】**

大口利用者の収入減ということだが、どういった業種か。

**【事務局】**

飲食業やホテル、病院等の収入が減少している。事業規模が大きいところでは、コスト削減のため地下水を利用しているところもある。

**【委員】**

以前から懸案である空港周辺のホテル群について、地下水から水道への転換はできないのか。

**【事務局】**

現在、新型コロナウイルスの影響で、ホテル側も厳しい経営状況だと思うので、もう少し状況が落ち着けば、そういったところにも目は向けられる。

**【委員】**

最近の滞納状況はどうなっているか。

**【事務局】**

手元にデータがない為、はっきりした事は申し上げられないが、新型コロナウイルスの影響もあって、直近の状況は滞納額が増えているように感じている。

## 6 傍聴

### (1) 傍聴者

0人（うち記者0人）

## 7 次回開催日時（予定）

未定（任期満了（7月14日）に伴う委員の改正後に調整）

※ 会議終了後、並木町配水場改修工事の現地視察を実施。